

地域建設業による災害対応 ～令和元年15号、19号台風災害等



○令和元年8月の前線に伴う集中豪雨、10月における大型台風15号、19号による風水害、豚コレラなど各都道府県建設業協会の会員企業（地元建設企業）は、公共機関との災害協定に基づき、土砂崩・堤防決壊により道路や河川内、家屋内に流出した土砂・がれきの撤去および運搬、災害地域への進入路整備、土留め応急対応、ポンプ車・散水車の出動等の災害復旧支援活動を実施した。また、各地方整備局等からの依頼を受け、被災地以外から作業員や資機材（ブルーシート、土のう袋、大型土のう袋詰機、ポンプ車、照明車等）の広域支援を実施した。



千葉県建設業協会会員による道路啓開
(台風19号 千葉県大多喜町)



栃木県建設業協会会員による河川堤防緊急応急
(台風19号 栃木県佐野市)



宮城県建設業協会会員による河川堤防緊急応急
(台風19号 宮城県津山町)



長野県建設業協会会員による屋根ブルーシート張り
(台風15号 千葉県鋸南町)



長野県建設業協会会員による堆積物除去
(台風19号 長野県長野市)



埼玉県建設業協会会員による豚コレラ埋却
(豚コレラ 埼玉県熊谷市)